TOKYO STOCK EXCHANGE
2部　証券コード：4952

# 会社説明会

株式会社エス・ディー・エス バイオテック

2014年9月9日

代表取締役社長　髙橋　順一

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# ご挨拶

**略歴**

- 昭和51年3月　慶応義塾大学　法学部卒
- 昭和51年4月　昭和電工株式会社入社
- 平成　4年3月　同社　経理部　主席
- 平成16年3月　当社　総務部長
- 平成17年4月　当社　取締役　兼　執行役員管理部長
- 平成25年3月　当社　常務取締役（管理部、営業部管掌）
- 平成25年7月　当社　常務取締役（管理部、技術開発部、営業部管掌）
- 平成26年3月　当社　代表取締役社長

| | |
|---|---|
| 就任の抱負 | 「食の安全・安心」「増大する食料需要」への貢献を継続する。 |
| モットー | 細心に進み、大胆に決断、失敗を恐れず、明るく楽天的に過ごす。 |
| 座右の銘 | 「我以外、皆我師」 |
| 経営方針 | グローバル展開を目指した事業戦略を構築し、市場環境に合った製品開発・営業普及活動を実践する。 |

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 目次

I. 会社概要

II. 市場環境

III. 今後の事業戦略

IV. 今後の見通し

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 会社概要

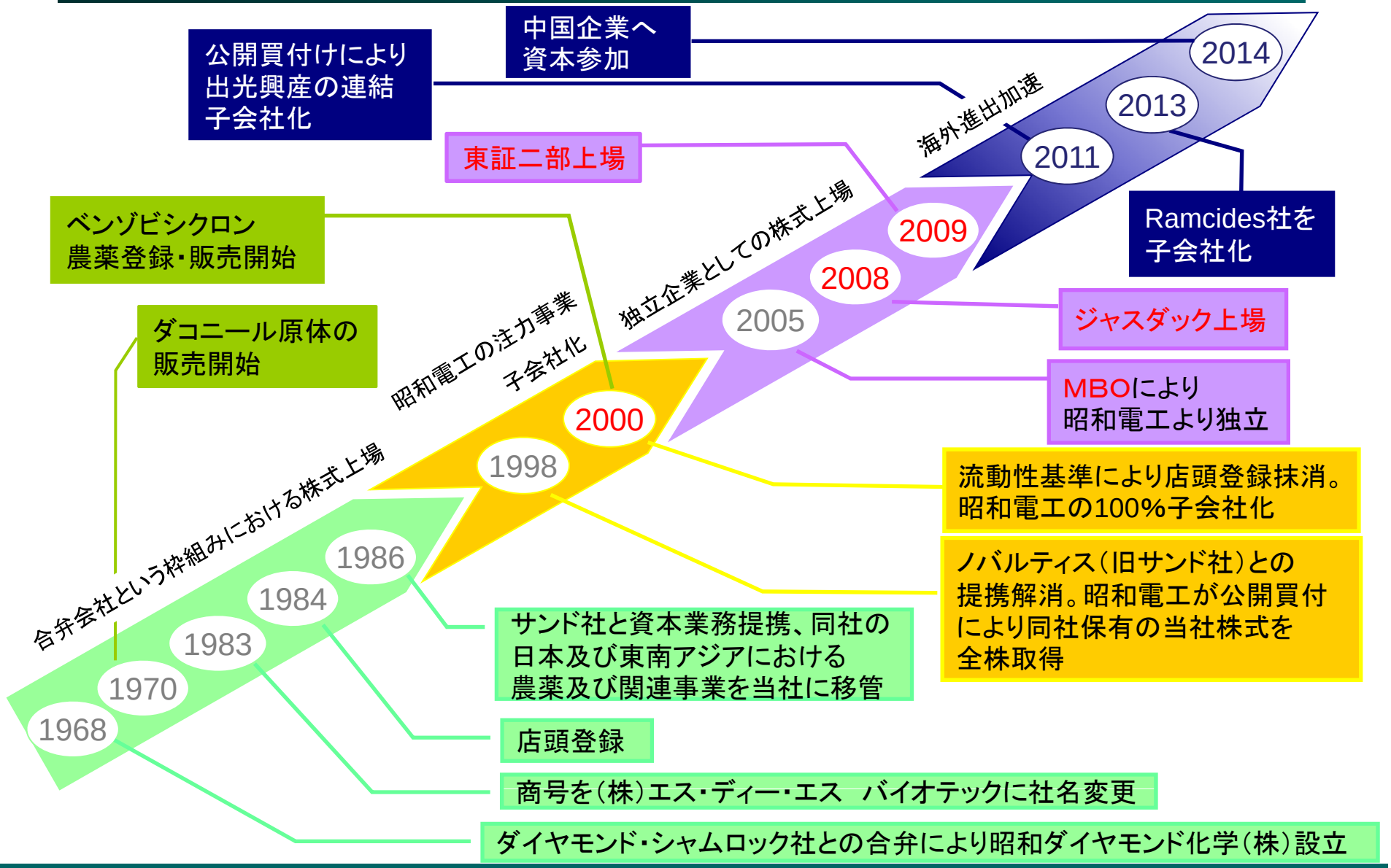
## 当社の経営理念

- 有用動植物保護と防疫を目的に、研究開発を行い、安全で有用な製商品を提供し、地球環境保護と豊かな社会作りへの貢献を通じて、企業価値を高め、全てのステークホルダーの期待と信頼に応えられるよう事業活動を進めます。

| | |
|---|---|
| 会社名 | 株式会社エス・ディー・エス　バイオテック |
| 本社所在地 | 東京都中央区東日本橋一丁目１番５号ヒューリック東日本橋ビル |
| 設立 | 1968年（昭和43年）10月 |
| 代表取締役社長 | 髙橋　順一 |
| 事業内容 | 農薬、工業用防黴剤、防疫薬剤及び特殊化学品の製造、輸入、販売 |
| 資本金 | 810百万円 |
| 従業員数 | 155名、インド子会社352名　（平成25年12月31日現在） |
| 事業所 | 本社（東京）、研究所（つくば）、工場（横浜）、みのり農事試験場（茨城県小美玉市） |
| 関係会社 | SDS Ramcides CropScience社、フマキラー・トータルシステム株式会社 |

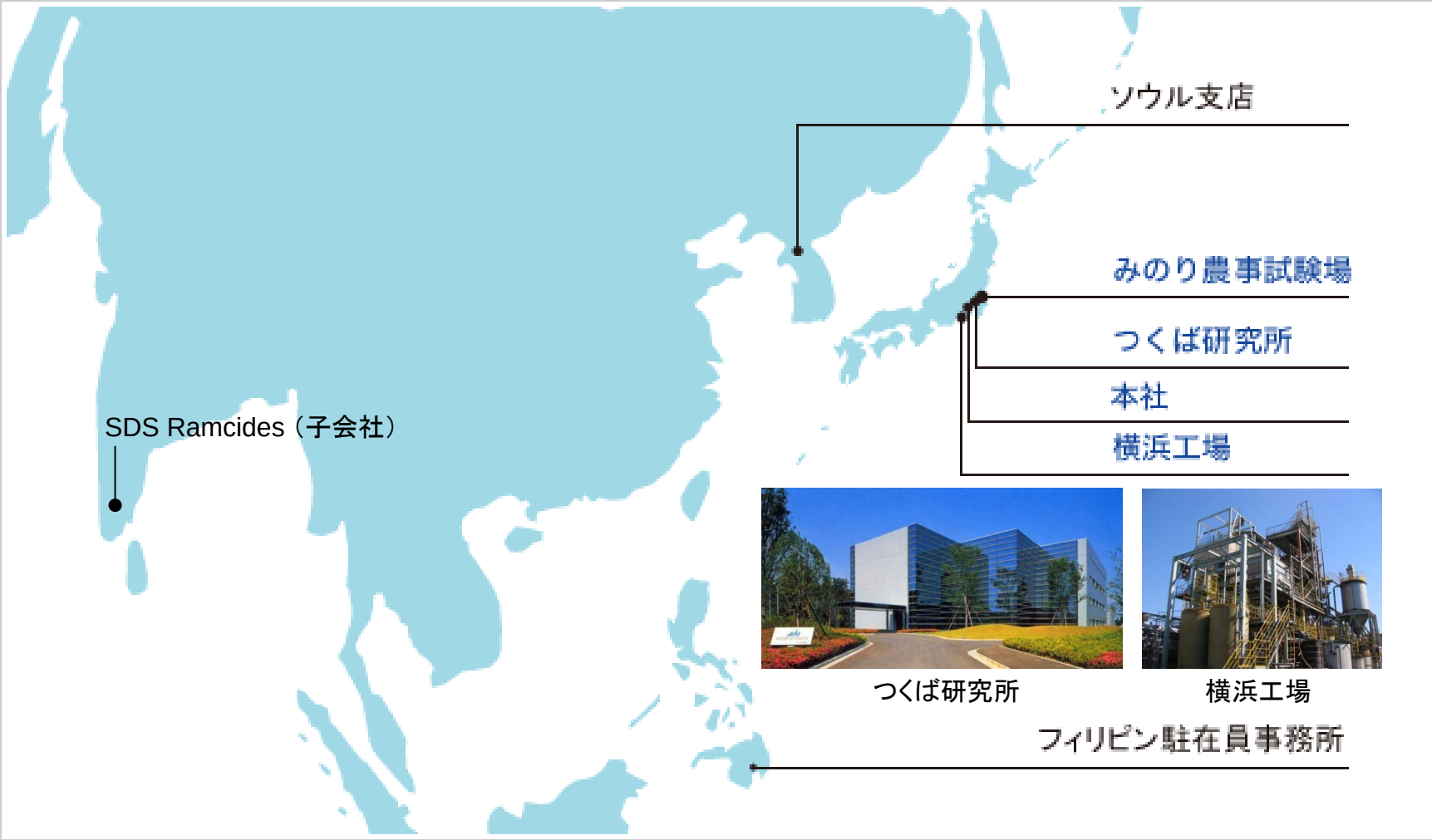
Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 沿革




Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 事務所紹介




Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 当社のポジション

◆国内順位（売上高）

| 順位 | 国内企業 | 2012<br>売上高($m) |
|---|---|---|
| 1 | 住友化学 | 1,905 |
| 2 | アリスタライフサイエンス | 1,527 |
| 3 | 石原産業 | 541 |
| 4 | クミアイ化学 | 481 |
| 5 | 日本曹達 | 477 |
| 6 | 三井アグロ | 471 |
| 7 | 日本農薬 | 471 |
| 8 | 日産化学 | 444 |
| 9 | 北興化学 | 351 |
| 10 | 協友アグリ | 220 |
| 11 | アグロカネショウ | 149 |
| 12 | 当社 | 130 |

（出所）Phillips McDougall

◆農薬専業メーカー国内順位（売上営業利益率）

| 順位 | 国内企業 | 売上営業<br>利益率（%） | 売上高<br>（百万円） |
|---|---|---|---|
| 1 | 日本農薬 | 15.6 | 47,627 |
| 2 | 当社 | 8.7 | 13,034 |
| 3 | アグロカネショウ | 7.8 | 13,351 |
| 5 | クミアイ化学 | 4.3 | 49,283 |
| 6 | 北興化学 | 1.4 | 38,795 |

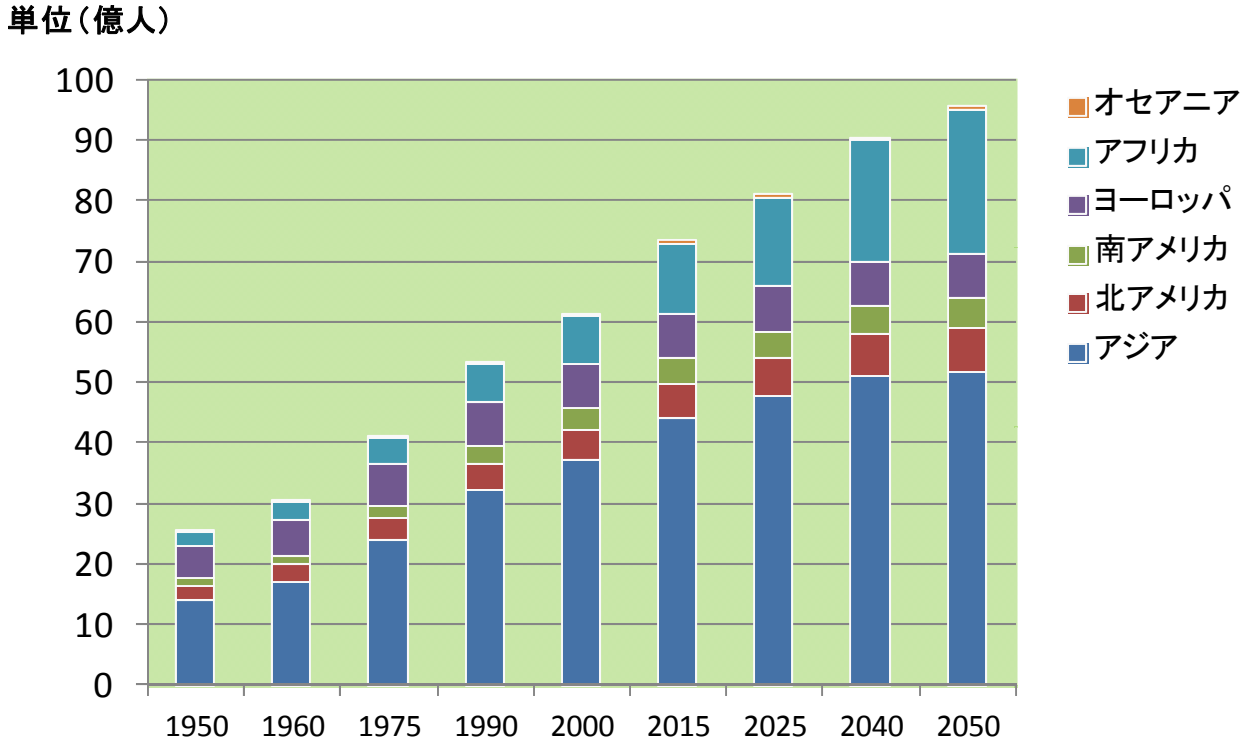
（出所）2013有価証券報告書より当社作成

■ 国内農薬メーカーとしては、第12位であるが、特徴のある原体を保有し、原体販売の割合が高いため売上営業利益率が高い。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 当社の目指すところ～食料増産への貢献～

■ 世界の人口推移（1950年～2050年）



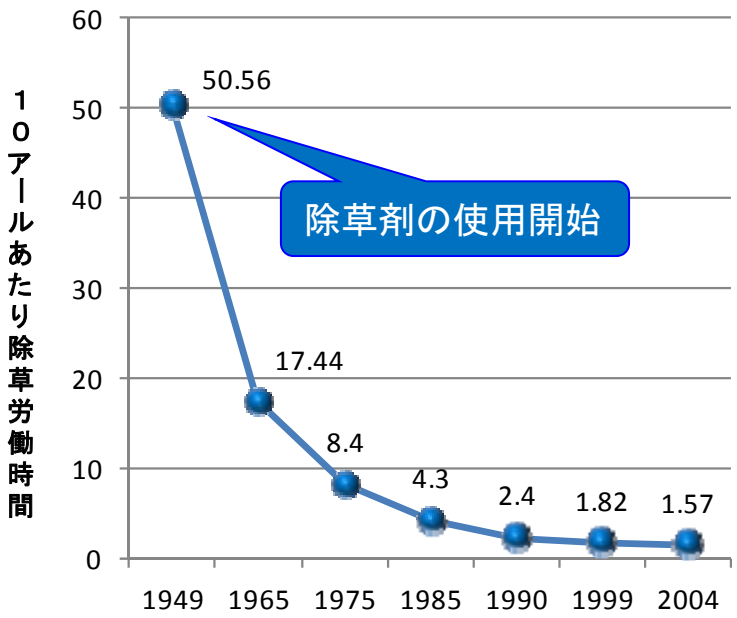

（出所）UN, World Population Prospects: The 2012 Revision（総務省統計局）

■ 2050年には、世界人口は90億人を超え、農薬や肥料は、益々有用な農業生産資材となる。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 当社の目指すところ～省力化への貢献～

■ 水稲作における除草時間の推移




（出所：日本植物調節剤協会資料）

■ 除草剤導入前と比べて10アール当たりの除草時間は30分の1以下に

**農薬施用の省力化**

■ 薬剤の残効性の付与による施用間隔の延長、3キロ剤から1キロ剤への軽量化、フロアブル剤、ジャンボ剤等への簡便な処理方法へのシフトが進んでいる。

畦畔から投げ込むだけで雑草を防除

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 農薬の安全性について～急性毒性～

$LD_{50}$：半数致死量といい、物質を投与した動物の半数が死亡する用量

| | 物質名 | $LD_{50}$ (mg/kg) |
|---|---|---|
| 天然毒素 | ボツリヌス毒素 | 0.00000032 |
| | アフラトキシン（カビ毒） | 7 |
| | ニコチン | 24 |
| 医薬品 | インドメタシン（湿布薬成分） | 12 |
| | モルヒネ（鎮痛剤成分） | 120-250 |
| | アスピリン（解熱剤成分） | 400 |
| 食品 | カプサイシン（唐辛子辛味成分） | 60-75 |
| | カフェイン（コーヒー、茶） | 174-192 |
| | ソラニン（じゃがいも芽毒成分） | 450 |
| | 食塩 | 3,000-3,500 |
| 農薬 | メタミドホス（日本未登録） | 7.5 |
| | ピレスリン（除虫菊の殺虫活性成分） | 519-747 |
| | クロロタロニル（ダコニールの有効成分） | 10,000 |
| | ベンゾビシクロン | >5,000 |

毒物：50 mg/kg以下

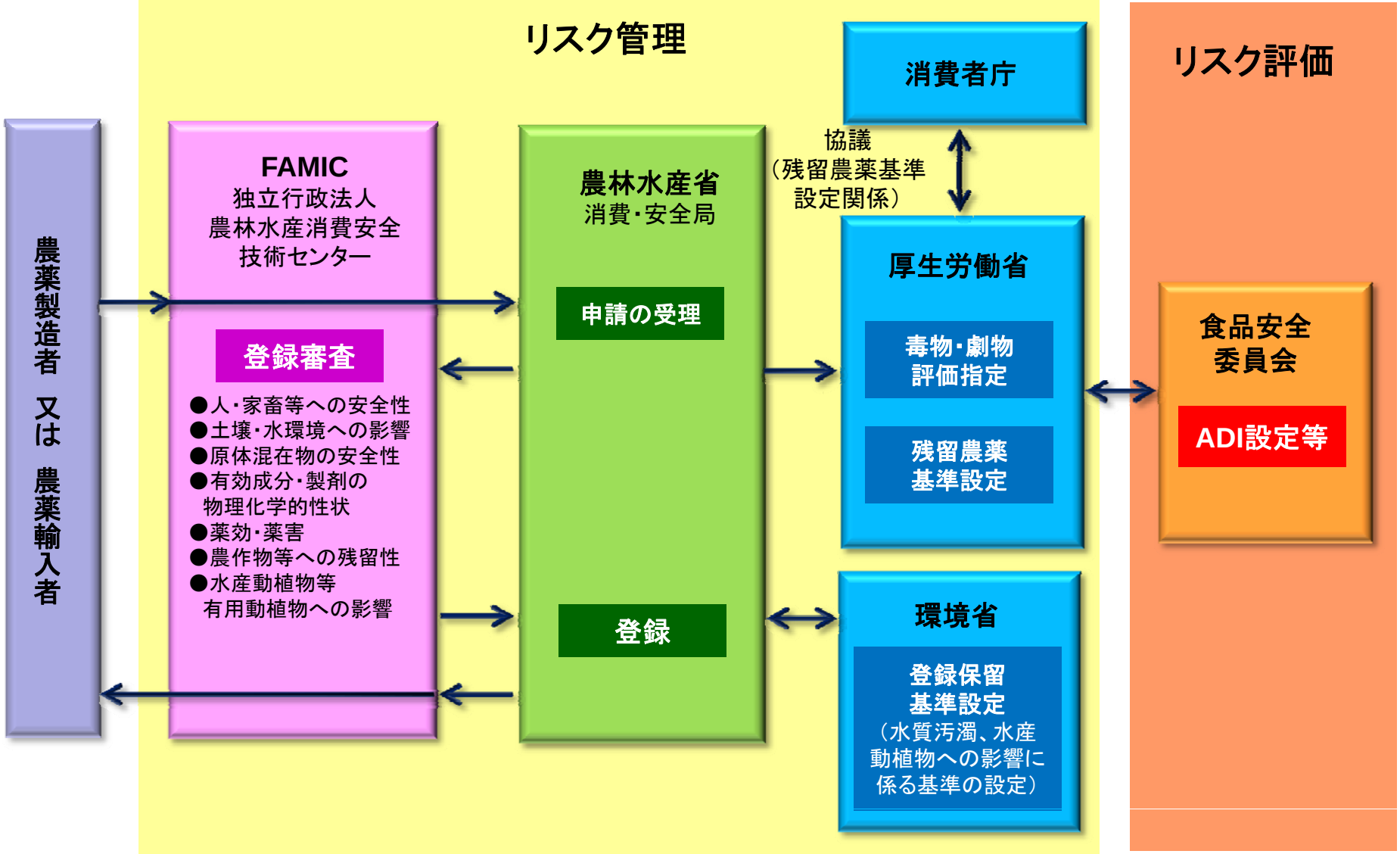
劇物：300 mg/kg以下

普通物：300 mg/kg超

平成19農薬年度（2007年）では、普通物の生産量が81.7%（金額ベース）を占める。（日本植物防疫協会「農薬概説」）

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 農薬の安全性について～登録制度～

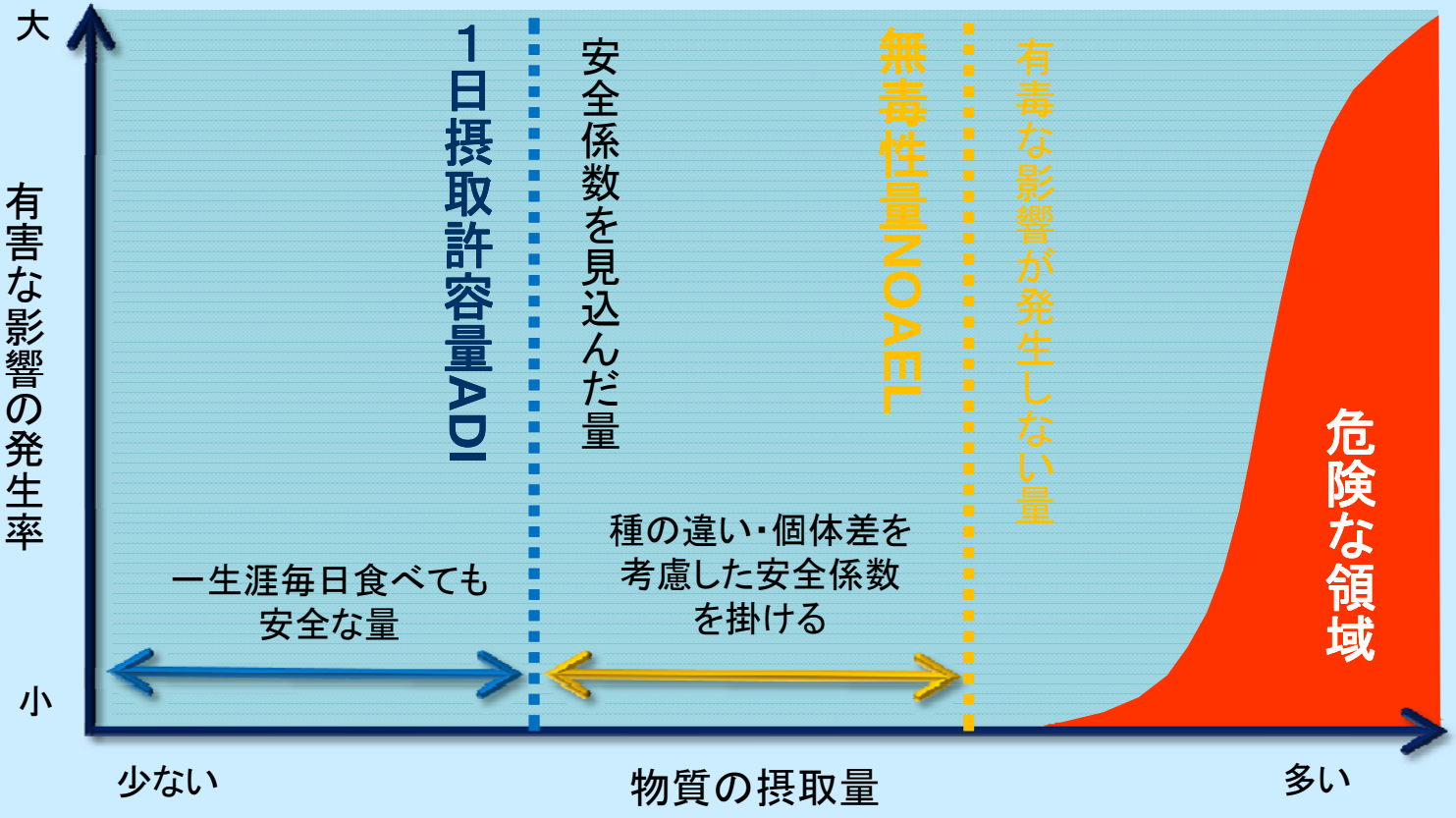



（出所）独）農林水産消費安全技術センター（FAMIC）HP

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 農薬の安全性について～ADI～

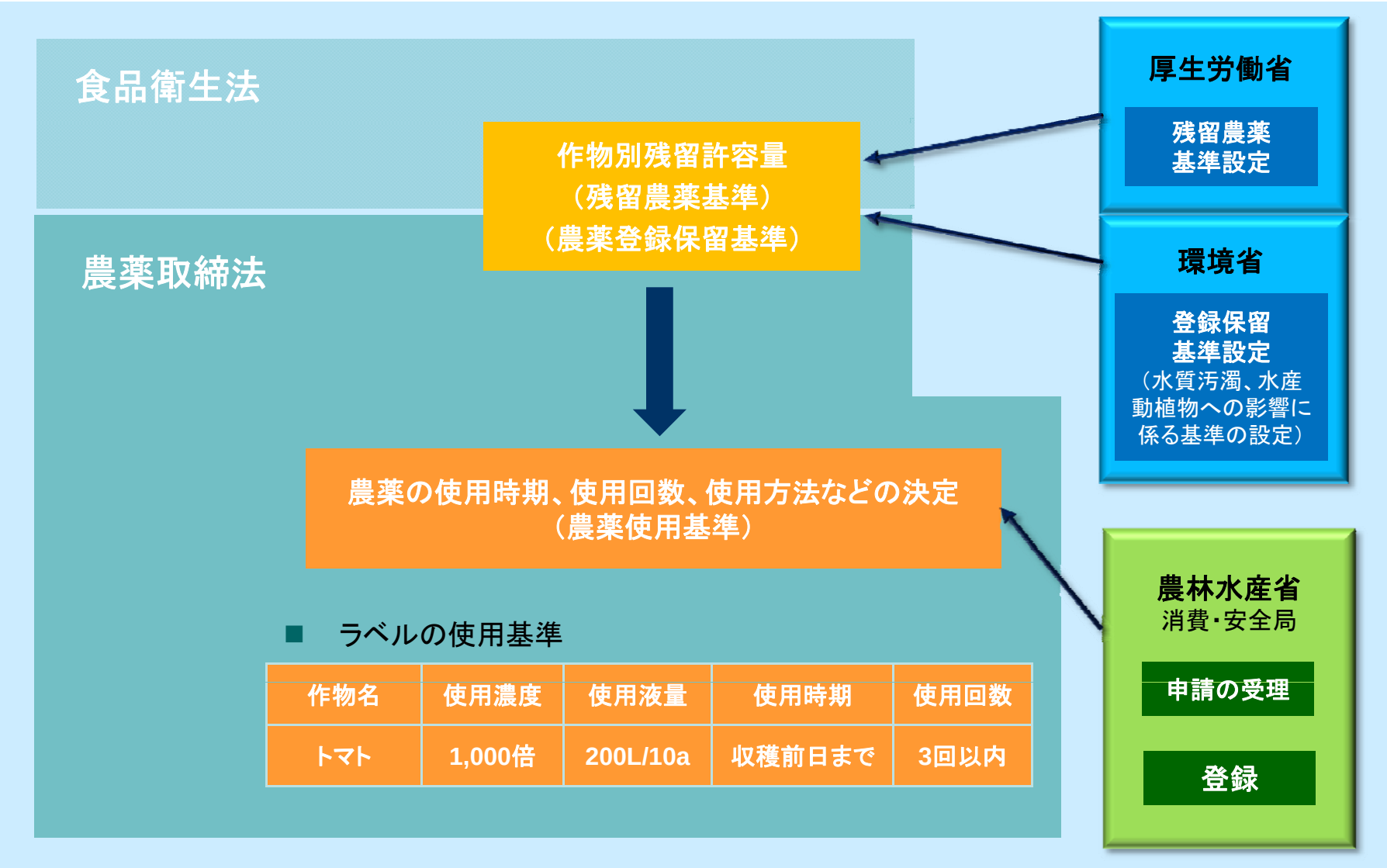
■ 1日摂取許容量：ADI(Acceptable Daily Intake)




（出所）農薬工業会HP

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 農薬の安全性について～農薬の使用基準～




■ ラベルの使用基準

| 作物名 | 使用濃度 | 使用液量 | 使用時期 | 使用回数 |
|---|---|---|---|---|
| トマト | 1,000倍 | 200L/10a | 収穫前日まで | 3回以内 |

（出所）農薬工業会HP（一部修正）

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

II.

# 市場環境

1. 国内の農薬市場環境
2. 海外の農薬市場環境
3. 品目別売上高・構成比（連結）
4. 主力製品の特長
5. 地域別売上高比（連結）

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 国内の農薬市場環境

## 農薬需要減少の背景

- 食料自給率（カロリーベース）40%
- 農業就業人口の減少と高齢化
- 労働力不足による作付面積の減少
- TPP交渉による農産物関税撤廃・削減懸念

## 農薬需要を喚起させる要因

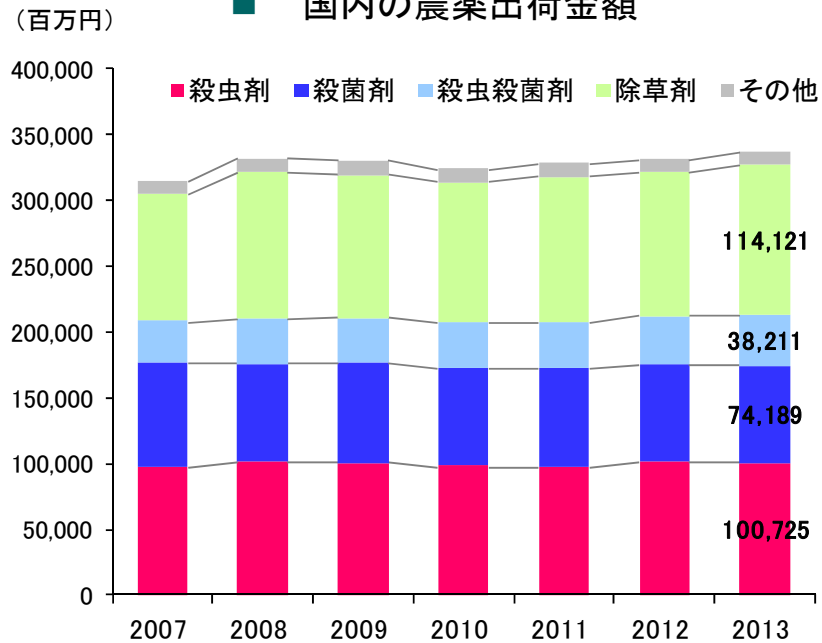
- 法人組織経営体の増加
- 農政改革「地域活力創造プラン」
  ー飼料用米の利活用　水田の有効利用
  ー稲発酵粗飼料の生産・利用
- 農作業の省力化に貢献する技術の開発

- 国内市場は2001年以降はほぼ横這いで推移（平成25農薬年度3,372億円、数量比99.8%, 金額比100.8%）
- 日本は、国別売上高で中国に抜かれ、世界4位へ後退（1位ブラジル、2位アメリカ、3位中国）

▼

- **今後も市場の大幅な拡大は期待しにくい状況**

■ 国内の農薬出荷金額




（出所）農薬工業会

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 海外の農薬市場環境

## 農薬需要を喚起させる要因

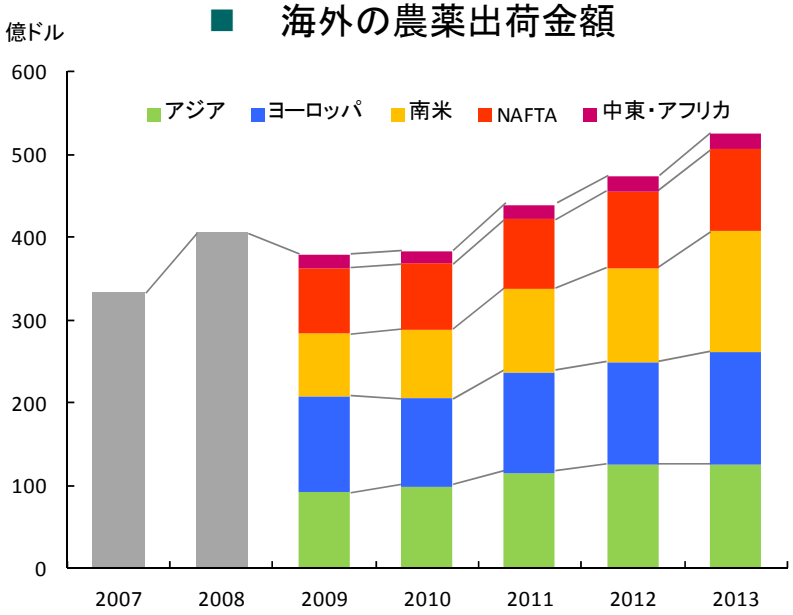
- 途上国における人口増加に伴う世界の食料需要の増加
- 新興国の畜産需要増による農作物需要の増加
- バイオ燃料向け農作物の作付面積の増加
- 遺伝子組換え（GM）作物の作付面積の増加
- ブラジルや中国、インドなどの新興国での高い経済成長の継続

- 世界市場は、2013年で591億6000万ドル（前年比9.4%増）

▼

- **今後も海外における農薬需要は増加の見込み**
- **日本の農薬企業の海外進出が加速している。**

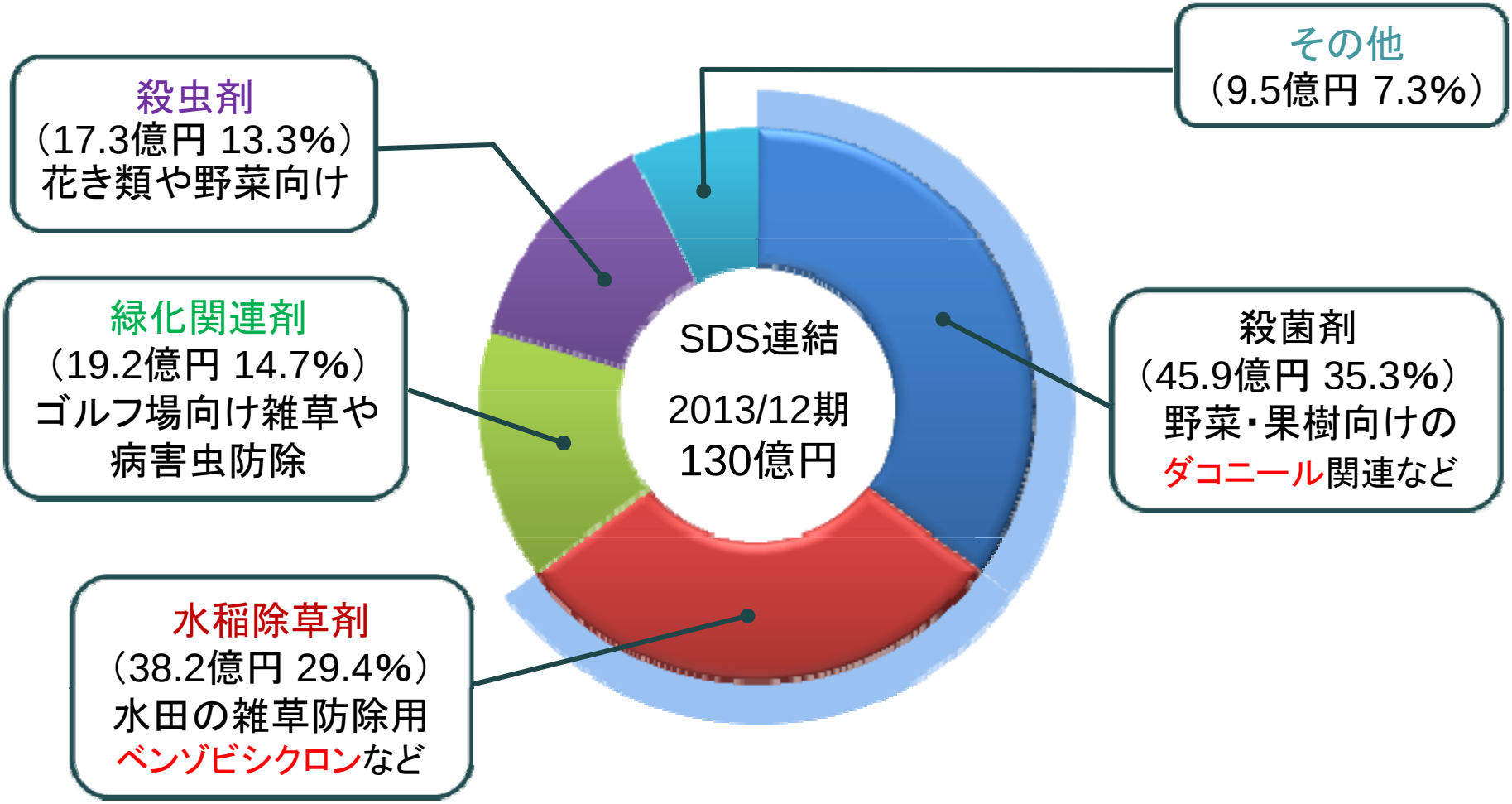
■ 海外の農薬出荷金額




（出所）Phillips McDougall

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 品目別売上高・構成比（連結）




■ 殺菌剤、水稲除草剤が主力で、全体の3分の2を占める。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 主力製品の特長

## 殺菌剤
ダコニール1000
ダコニールエース
パスポート顆粒水和剤
ペフラゾエート原体

## 水稲除草剤
ベンゾビシクロン原体
ダイムロン原体
カフェンストロール原体
テニルクロール原体

## 緑化関連剤
クロレートS
イデトップフロアブル
オレンジパワー

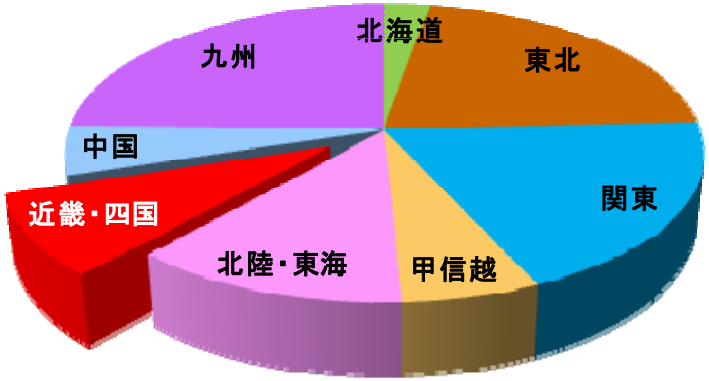
- 有力な原体を保有　27原体（殺虫剤4、殺菌剤4、除草剤15、生物農薬4）
- 特徴のある原体を保有し、自社製品だけでなく他社製品開発にも関与していくことが可能。農薬登録保有数（殺虫剤15、殺菌剤27、除草剤121）

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 主力製品の特長　殺菌剤

■ ダコニール関連剤（殺菌剤）

■ ダコニール1000の国内地域別売上構成比（2013）




**特長**

- 多種多様な病害に対しても効果がある。
- 薬剤耐性菌が出づらい。

▼

60種類以上の作物に登録があり、発売から45年以上のロングセラー商品

**ユーザーの信頼に支えられた強力なブランド力**

「今年使用した農薬・効果の高かった農薬」
農薬アンケートとして3年連続1位を獲得
（日本農業新聞2013.8.15記事、読者対象アンケートより）

海外では、主にフィリピンのバナナ農園向けに出荷されている。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 主力製品の特長　水稲除草剤



■ ベンゾビシクロン関連剤（水稲除草剤）

SU抵抗性雑草に対する除草効果

スルホニルウレア剤（2倍量）

ベンゾビシクロン（200ｇ a.i./ha）

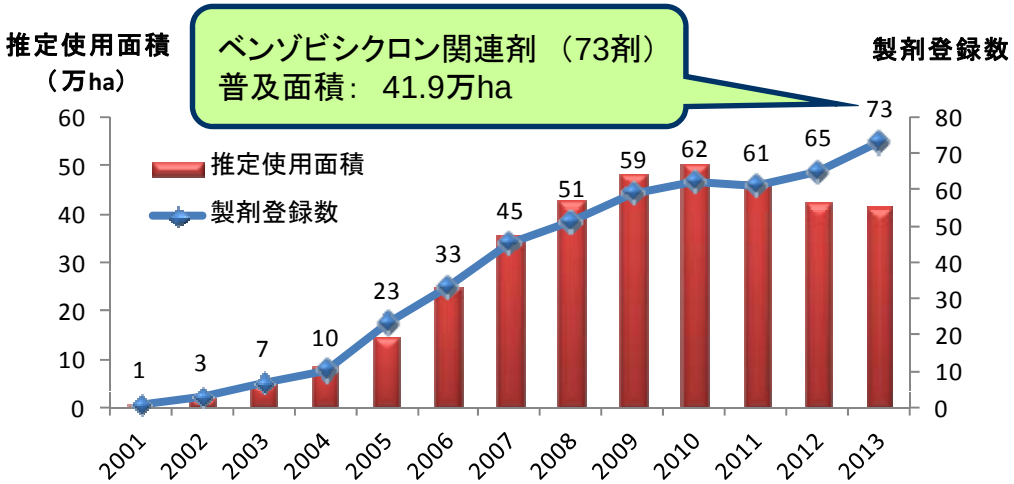
2000年（株）エス・ディー・エス バイオテック
社内コンクリートポット試験（茨城県小美玉市）
試験規模；50×50 cm（2500cm²）、軽埴土
薬剤処理日；2000/6/15（雑草発生前）
調査日；2000/7/14（処理29日後）

**特長**

- 防除が困難な雑草も効果を示す。
- スルホニルウレア（SU）抵抗性の雑草にも効果を示す。
- 水稲との選択性が高い。（雑草のみを枯らす）
- 効果の持続性が高い。（長く、良く、効く）

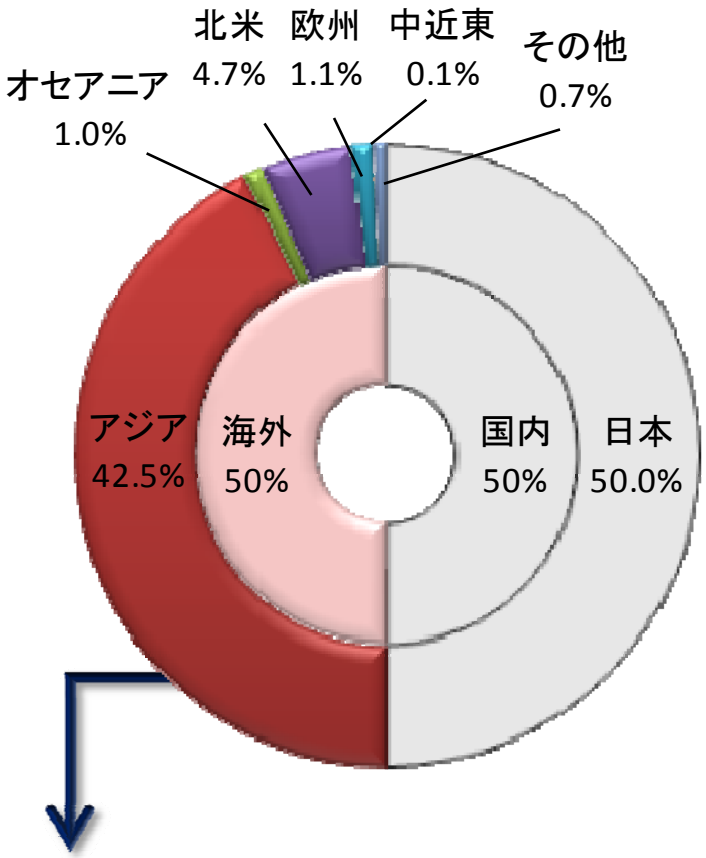
▼

**多くの他社新規水稲除草剤に含まれる。**




Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 地域別売上高比率（連結）




◆アジア地域売上高上位6ヶ国（SDS単体）

| 売上高順位 | 国名 | 2012/2013 成長率 (%) |
|---|---|---|
| 1 | フィリピン | 105.9 |
| 2 | 韓国 | 107.0 |
| 3 | インドネシア | 135.0 |
| 4 | ベトナム | 120.9 |
| 5 | 中国 | 154.3 |
| 6 | インド | 146.8 |

■ これまでの主な販売先である、フィリピン、韓国の他、インドネシア、ベトナム、中国でも需要が拡大傾向にある。

■ アジア地域におけるRamcides社の売上割合は4割を占める。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# III. 今後の事業戦略

1. 経営戦略
2. 重点施策
   - 殺菌剤ダコニールのアジア市場の拡大
   - 水稲除草剤ベンゾビシクロンの市場拡大
   - インドにおける研究開発（R&D）機能強化と市場拡大
   - 新製品ラインアップの充実と新規独自原体の創出

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 経営戦略と重点施策

## 経営戦略

海外売上強化と製品開発の拡充

## 重点施策

- 殺菌剤ダコニールのアジア市場の拡大
- 水稲除草剤ベンゾビシクロンの国内・海外市場の拡大
- インドにおける研究開発（R&D）機能強化と市場拡大
- 新製品ラインナップの充実と新規独自原体の創出

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 殺菌剤ダコニールのアジア市場の拡大

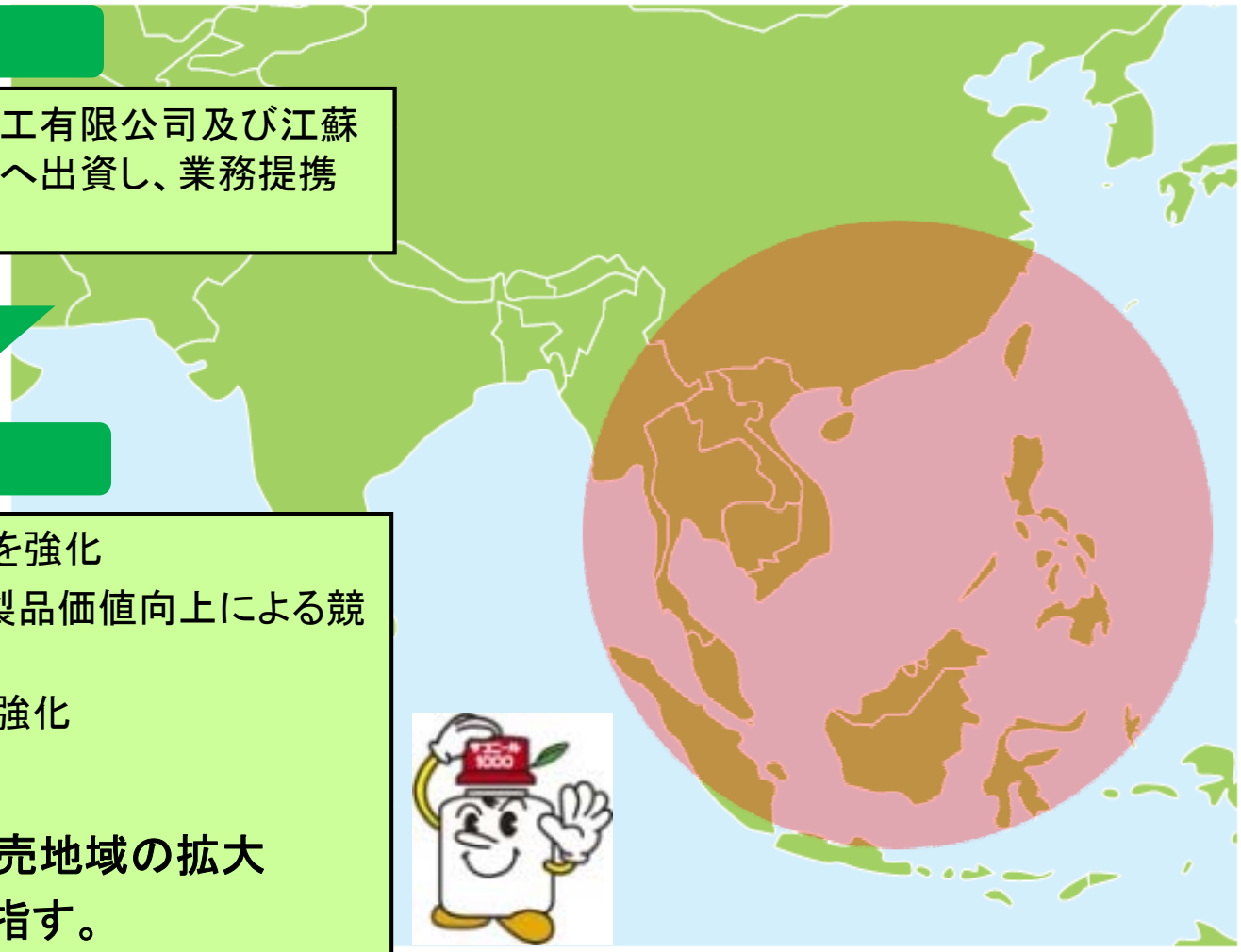
## 直近の取り組み

- 中国の江蘇新河農用化工有限公司及び江蘇新沂泰禾化工有限公司へ出資し、業務提携契約を締結（2014.3月）

## 今後の取り組み

- ジェネリックとの競争力を強化
- 高品質、低価格による製品価値向上による競争力強化
- アジア地域への販売力強化

**販売数量の増加、販売地域の拡大による収益増大を目指す。**



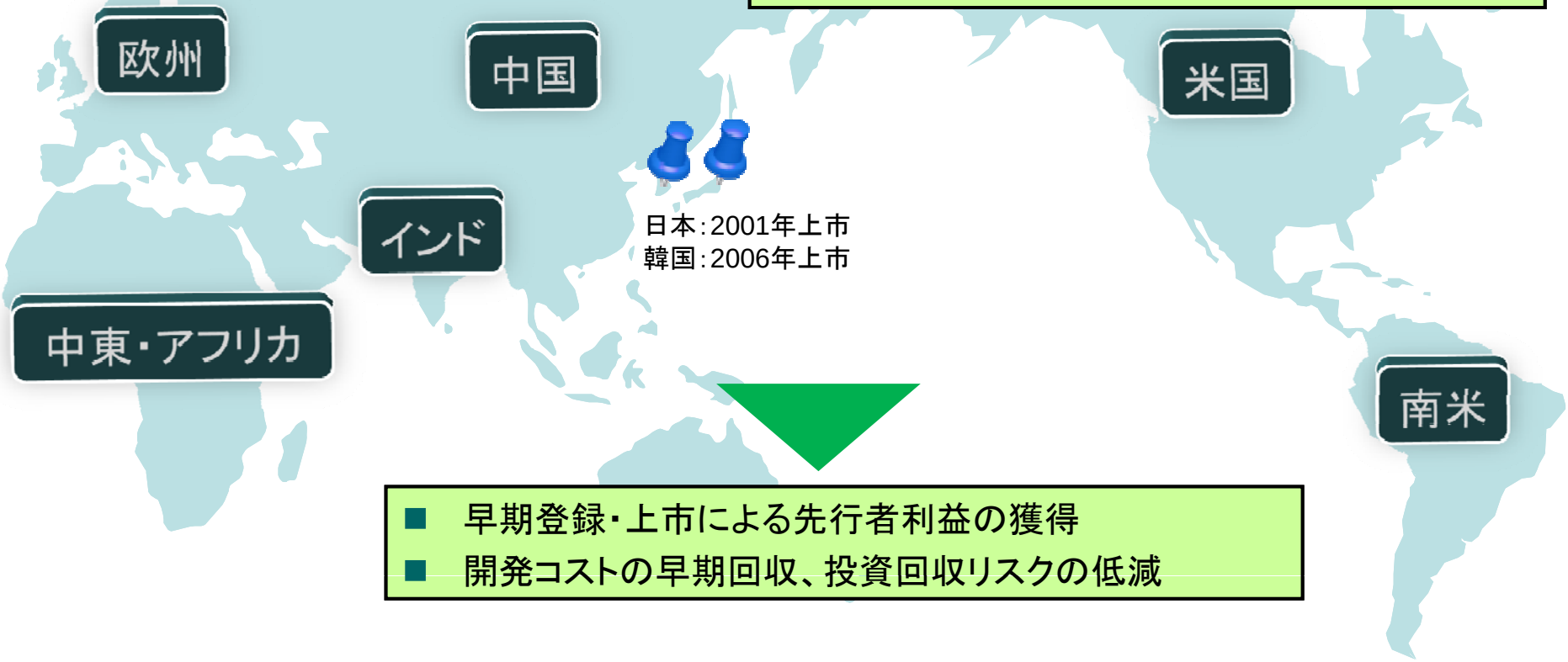
Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 水稲除草剤ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝの市場拡大（海外）

## 開発状況＆上市スケジュール

- コロンビア：登録申請準備中　2015～
- 中国：臨時登録申請準備中　2016～
- EUスペイン：登録申請準備中　2017～

- USカリフォルニア：登録申請準備中　2017～
- USデルタ：登録申請準備中　2017～
- インド：適合性評価中
- エジプト：適合性評価中




- 早期登録・上市による先行者利益の獲得
- 開発コストの早期回収、投資回収リスクの低減

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# インドにおける研究開発（R&D）強化と市場拡大

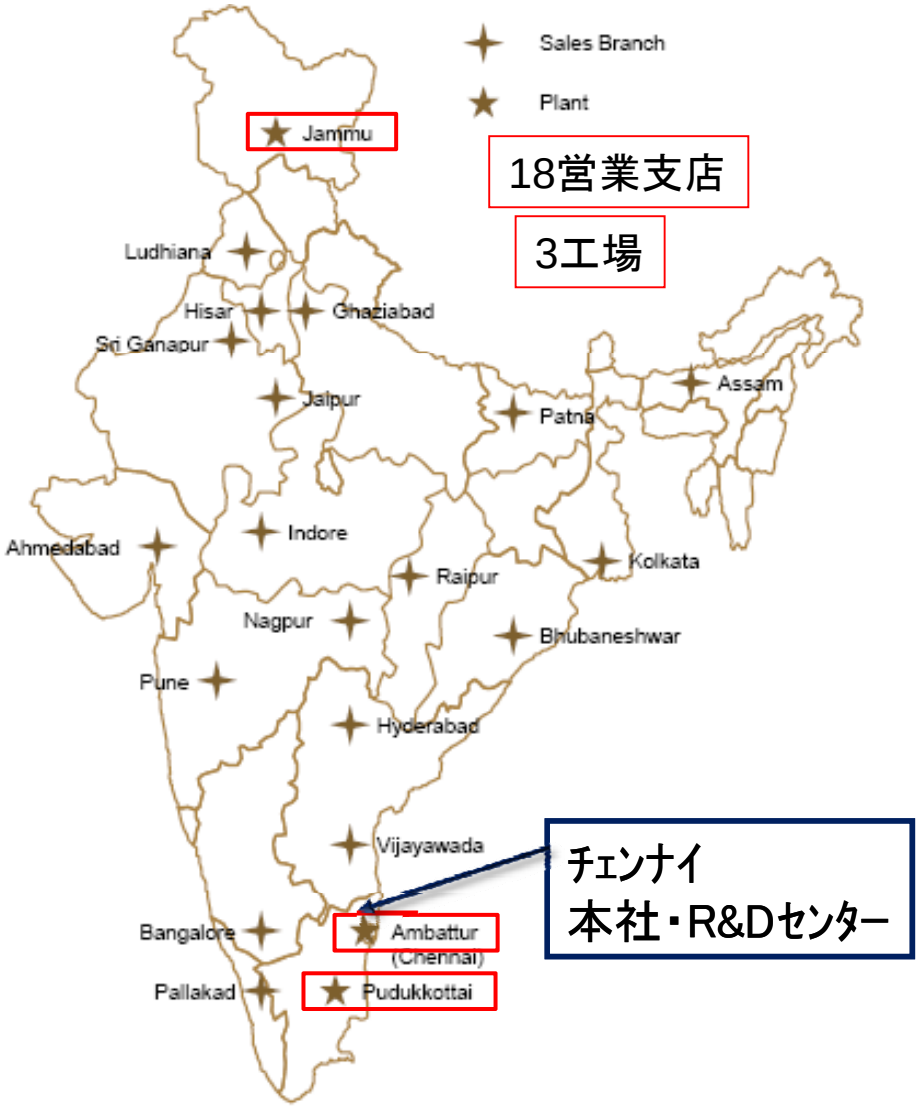
## 直近の取り組み

- SDSによる資金面・R&D機能の強化
  ①既存ジェネリック農薬の拡販
  ②販売品目の充実
  ③独自機能性肥料の拡販（Allwinシリーズ）

## 今後の取り組み

- SDSによるR&D機能の強化
- Ramcides社の販売網のフル活用

①技術サポートによる製品差別化
②SDS原体の登録・販売
③日本企業の製品導入・販売
④中国からの原体調達検討




Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 新製品ﾗｲﾝｱｯﾌﾟの充実と新規独自原体の創出

■ 2016年までに上市、利益顕現を目指す新商品群

| | 2013 | 2014 | 2015 | | 2016 |
|---|---|---|---|---|---|
| 新製品 | オレンジパワー乳剤 | インプレッションクリア水和剤 | ポアキュア乳剤<br>アミカル顆粒水和剤 | ファルクス顆粒水和剤 | SB-3711<br>SB-2092<br>SB-219 |
| 上市スケジュール | 12/ 4月25日登録<br>13/10月上市 | 14/5月28日登録<br>14/10月上市予定 | 2015年上市予定 | 2015年上市予定 | 登録申請準備中 |
| 製品の特徴 | 家庭園芸向け、オレンジ由来の天然成分を利用した除草剤 | 当社で発見・開発微生物の抗菌力を利用した殺菌剤 | （ポアキュア）<br>ｺﾞﾙﾌ場ｸﾞﾘｰﾝ用芝用除草剤<br>（アミカル）<br>ｺﾞﾙﾌ場ﾌｪｱｳｪｲ用芝用除草剤 | （ファルクス）<br>ｺﾞﾙﾌ場ﾌｪｱｳｪｲ用芝用除草剤 | （SB-3711）<br>野菜用銅殺菌剤<br>（SB-2092）<br>芝用除草剤<br>（SB-219）<br>家庭園芸用除草剤 |

（インプレッションクリア水和剤）
国内　：適用作物、適用病害の拡充による価値最大化
海外　：北米、欧州への展開に向けた評価実施中

（ファルクス顆粒水和剤）
第3のジャンルである緑化剤分野の強化を目指す。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# IV. 今後の見通し

1. 2014年12月期　通期業績予想
2. 連結業績推移
3. 配当政策

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 2014年12月期予想（連結）-据え置き-

単位：百万円、%

| | 2013年12月期 実績 * | 2014年12月期 予想 | 前年比 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 13,034 | 14,866 | 1,832 | 14.1 |
| 営業利益 | 1,128 | 1,352 | 224 | 19.8 |
| 経常利益 | 1,010 | 1,179 | 169 | 16.6 |
| 当期純利益 | 642 | 684 | 42 | 6.4 |
| 一株当たり当期純利益（円） | 82.22 | 87.35 | | |
| 為替レート（期中平均） | 98.44¥/＄ | 99.00¥/＄ | | |

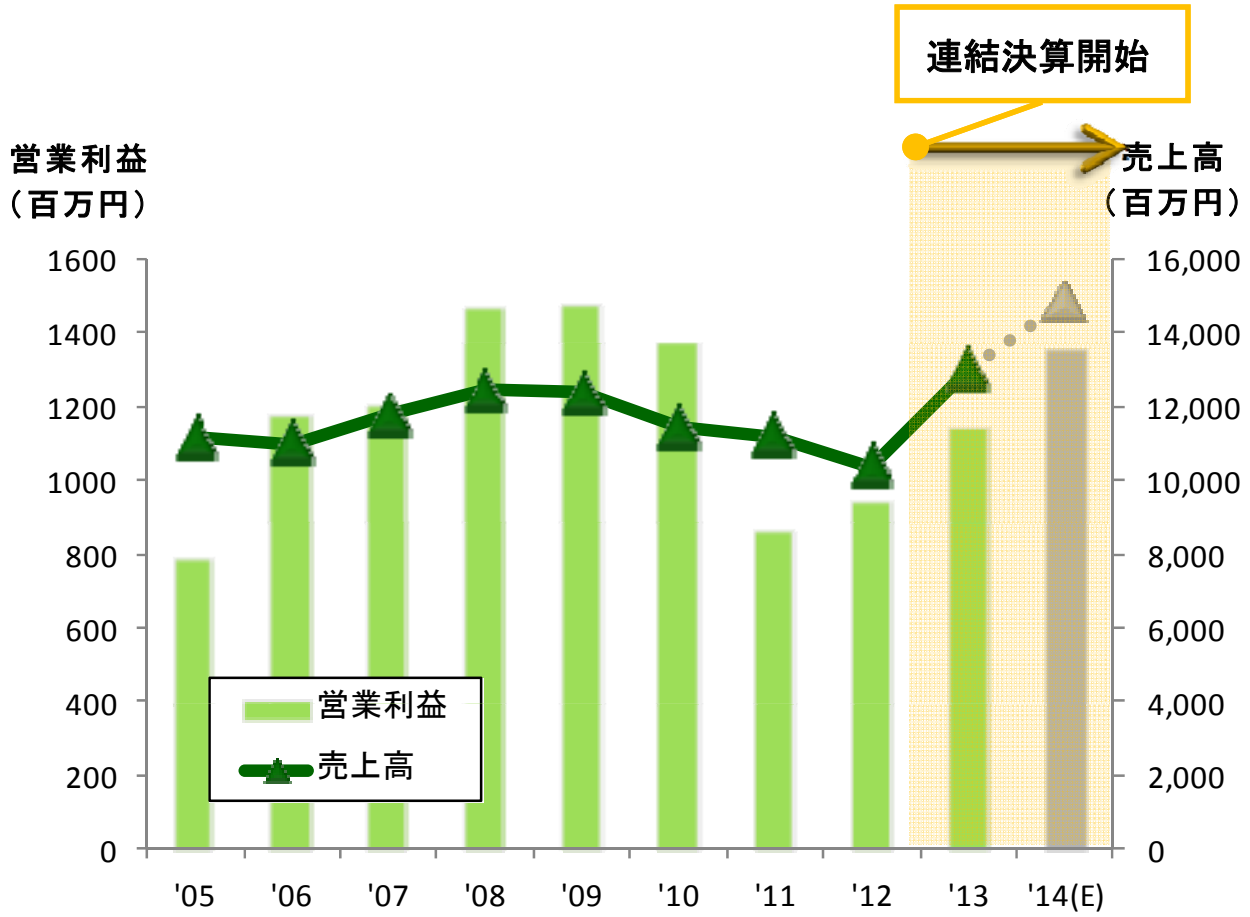
注）2013年は連結初年度のため、Ramcides社については、9ヵ月分のみを取り込んでおります。

## 当社グループの通期予想

- 国内販売において水稲除草剤関連分野を中心に全体的に好調に推移
- 継続する円安の影響を受け、輸出事業を中心に収益が改善
- 連結子会社化したSDS Ramcides CropScienceの業績も好調

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

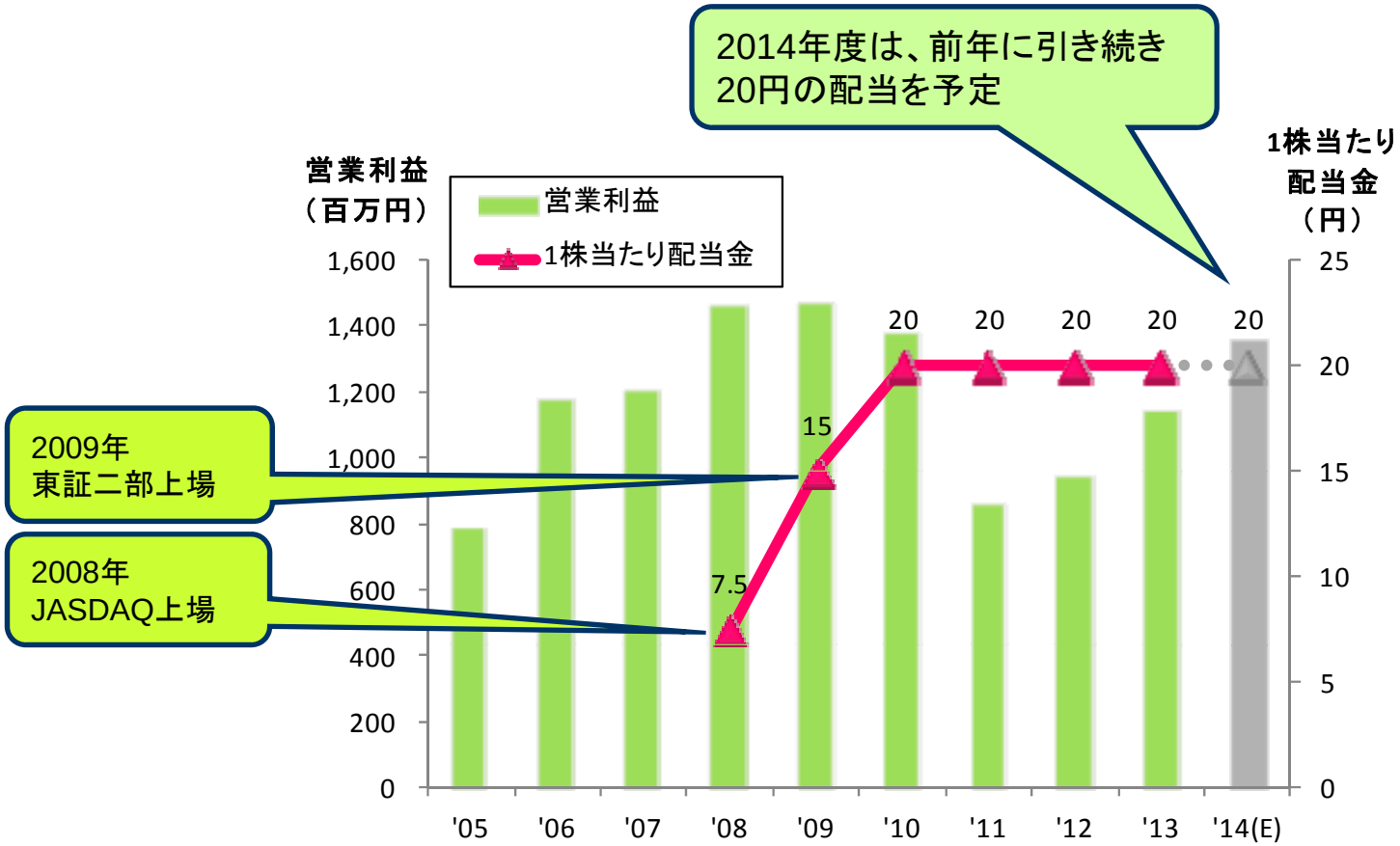
# 連結業績推移




■ 固有の企業力をベースに、出光興産やRamcides社とのシナジーを追求し、国内収益基盤の盤石化を図るとともに世界展開を加速させ、継続的な成長を目指す。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 配当政策




■ 売上高営業利益率10%程度の利益レベルを前提として年間30%程度の配当性向を見据え、安定配当を実施する。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 農作物の健康を考える

株式会社エス・ディー・エス バイオテック

IRに関するお問い合わせ先

| | |
|---|---|
| 経営企画部 | Tel. 03-5825-5505<br>E-mail:Sds_Ir@sdsbio.co.jp |
| ホームページ | http://www.sdsbio.co.jp/ |

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved

# 本資料の取扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

Copyright ©2014 SDS Biotech K.K. All Rights Reserved